

【京都市】社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年 9月22日

計画の名称	1 京都市における下水道事業の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	京都市
計画の目標			

下水道事業による防災・安全対策を推進し、安全・安心で快適な市民生活を安定的に支えるとともに、良好な水環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 浸水対策実施率を0%から100%に増加させる
- ② マンホールトイレ整備実施率を0%から100%に増加させる
- ③ 重要管路の耐震化実施率を0%から100%に増加させる
- ④ 合流式下水道改善対策実施率を0%から100%に増加させる

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H23当初)	最終目標値 (H27末)	
①浸水対策実施率（計画期間内における浸水対策が必要な管路延長に対する対策実施延長の割合） 浸水対策実施延長／計画期間内で緊急的に浸水対策が必要な管路延長（L=3km）	0.0%	100%	
②マンホールトイレ整備実施率（計画期間内における整備が必要な箇所数に対する整備実施箇所数の割合） マンホールトイレ整備実施箇所数／計画期間内で緊急的に整備が必要な箇所数（40箇所）	0.0%	100%	
③重要管路の耐震化実施率（計画期間内における耐震化が必要な重要管路延長に対する耐震化実施延長の割合） 耐震化実施延長／計画期間内で緊急的に耐震化が必要な重要管路延長（L=59km）	0.0%	100%	
④合流式下水道改善対策実施率（計画期間内における合流式下水道の改善対策が必要な管路延長に対する対策実施延長の割合） 合流式下水道改善対策実施延長／計画期間内で緊急的に合流式下水道の改善対策が必要な管路延長（L=4km）	0.0%	100%	

全体事業費	計画	合計	31,186 百万円	A	29,431 百万円	B	0 百万円	C	1,755 百万円	効果促進事業費の割合	5.6%
	実績	(A+B+C)	24,707 百万円		22,936 百万円		0 百万円		1,772 百万円	C / (A+B+C)	7.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・本計画の事業については、本市の公共下水道事業経営評価において、実施状況を評価	・ 通年 公表の方法 ・京都市上下水道局ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H23	H24	H25	H26	H27			
A1 下水道事業											小計（下水道事業）					#####	
1-A1-1	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	新設	下水道総合浸水対策緊急事業（京都駅周辺地区）	塩小路幹線（φ3200mm、L=1720m）等	京都市					3,329	総合浸水	
1-A1-2	下水道	一般	京都市	直接	—	雨水	新設	下水道浸水被害軽減総合事業（山科駅周辺地区）	山科三条雨水幹線（φ1500mm、L=2260m）等	京都市					1,384	浸水被害軽減	
1-A1-3	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	新設	下水道浸水被害軽減総合事業（祇園地区）	花見小路幹線（φ1800mm、L=840m）等	京都市					338	浸水被害軽減	
1-A1-4	下水道	一般	京都市	直接	—	合流・汚水	改築・新設	下水道地震対策緊急整備事業・下水道総合地震対策事業	重要管路耐震化（φ800mm未満、L=59km）、マンホールトイレ（40箇所）等	京都市					4,260	緊急地震・総合整備	
1-A1-5	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	新設	合流式下水道緊急改善事業	七条東幹線（φ3500mm、L=2400m）等	京都市					6,064	緊急合流	
1-A1-6	下水道	一般	京都市	直接	—	ポンプ場	改築	合流式下水道緊急改善事業（ポンプ場）	雨水滞水池（V=4300m ³ ）等	京都市					1,346	緊急合流	
1-A1-7	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	新設	伏見地区	伏見第3導水渠等	京都市					549		
1-A1-8	下水道	一般	京都市	直接	—	雨水	新設	山科北部地区、向島地区	山科川113-1号雨水幹線、向島調整池等	京都市					95		
1-A1-9	下水道	一般	京都市	直接	—	監視・ポンプ場	改築	長寿命化計画策定・対策実施	監視閉鎖設備（鳥羽水環境保全センター吉祥院支所）等	京都市					3,360	長寿命化	
1-A1-10	下水道	一般	京都市	間接	個人			新世代下水道支援事業	雨水貯留施設設置助成（600件）	京都市					12	新世代	
1-A1-11	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	改築	50年経過管の調査・改築更新	合流管（φ300mm以上、L=40km）	京都市					2,191		
1-A1-12	下水道	一般	京都市	直接	—	処理場	改築	下水道総合地震対策事業	京北特定環境保全公共下水道（耐震補強等）	京都市					8	総合地震	
											小計（下水道事業）					#####	
B 関連社会資本整備事業											小計					0	
番号											小計					0	
番号											一体的に実施することにより期待される効果						備考
C 効果促進事業											小計					1,772	
1-C1-1	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	新設	防災倉庫	防災倉庫	京都市					0		
1-C1-2	下水道	一般	京都市	直接	—	合流・汚水	改築	管路の地震対策、マンホールトイレ	重要管路耐震化（φ800mm未満、L=2km）等	京都市					99		
1-C1-3	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	新設	浸水対策	吉田2号第2分岐幹線（φ1350、1500mm、L=550m）等	京都市					993		
1-C1-4	下水道	一般	京都市	間接	個人	雨水	新設	雨水流出抑制対策	雨水浸透施設設置助成（50件）	京都市					5		
1-C1-5	下水道	一般	京都市	直接	—	合流	改築	50年経過管の調査・改築更新	合流管（φ300mm未満、L=40km）	京都市					675		
											小計					1,772	
番号											一体的に実施することにより期待される効果						備考
1-C1-1	基礎事業（1-A1-1）と一体的に防災倉庫を設置することで、効率的に安全・安心な暮らしを実現する。																
1-C1-2	基礎事業（1-A1-4）のマンホールトイレと接続する管渠（支線）を一体的に地震対策することで、効率的に安全・安心な暮らしを実現する。																
1-C1-3	基礎事業（1-A1-5）と一体的に浸水対策を行うことで、効率的に安全・安心な暮らしを実現する。																
1-C1-4	基礎事業（1-A1-10）と一体的に各戸における流出抑制対策を行うことで、効率的に安全・安心な暮らしを実現する。																
1-C1-5	基礎事業（1-A1-11）と一体的に50年経過管の調査・改築更新を行うことで、効率的に安全・安心な暮らしを実現する。																

【京都市】社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年 9月22日

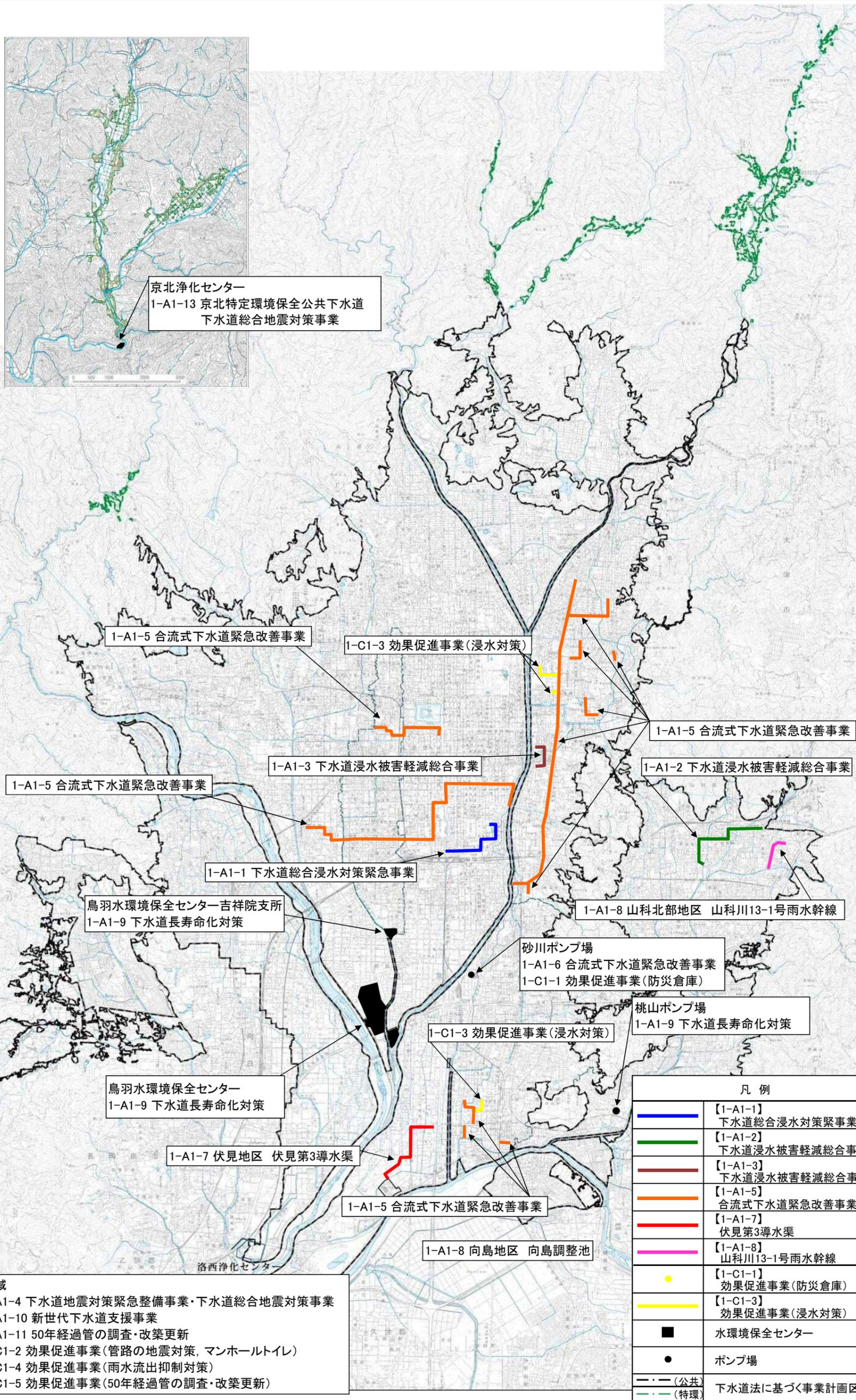
計画の名称	1 京都市における下水道事業の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	京都市
計画の目標	下水道事業による防災・安全対策を推進し、安全・安心で快適な市民生活を安定的に支えるとともに、良好な水環境を創造する。		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 地下街等を有するターミナル駅周辺や過去に浸水被害のあった地域における浸水対策の実施により、大雨時にも市民の生命と暮らしを守るまちづくりに寄与している。 広域避難場所や避難所等に災害用マンホールトイレを整備することで、災害時における衛生的な生活を確保する。 緊急避難路下に布設した管路や避難所等からの排水を受ける管路といった重要な管路の耐震化を実施したことで、災害時の救助活動や物資運搬、避難所等における衛生的な生活を確保する。 市内の約4割を占める合流式下水道の改善の実施により、雨天時に流出する未処理下水等を削減し、市内河川や下流域の水質の向上に寄与している。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（浸水対策実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た理由	雨水幹線整備工事の進捗を早めることができたため。 浸水対策実施延長／計画期間内で緊急的に浸水対策が必要な管路延長：4km/3km
		最終実績値	133%		
	指標②（マンホールトイレ整備実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た理由	概ね計画通りの進捗であった。 マンホールトイレ整備実施箇所数／計画期間内で緊急的に整備が必要な箇所数：41箇所/40箇所
		最終実績値	103%		
	指標③（重要管路の耐震化実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た理由	概ね計画通りの進捗であった。 耐震化実施延長／計画期間内で緊急的に耐震化が必要な重要管路延長：61km/59km
		最終実績値	103%		
	指標④（合流式下水道改善対策実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た理由	概ね計画通りの進捗であった。 合流式下水道改善対策実施延長／計画期間内で緊急的に合流式下水道の改善対策が必要な管路延長：4km/4km
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

現在、京都市上下水道局中期経営プラン（2013-2017）に沿った平成28年度～平成29年度整備計画を策定し、下水道事業を推進している。
また、平成29年度については重点計画を策定し、重要な管路の耐震化やマンホールトイレの整備を、安定的に実施する。
平成30年度以降については、当局の新たな経営ビジョンに沿った整備計画を策定し、運用していく。



京北浄化センター
1-A1-13 京北特定環境保全公共下水道
下水道総合地震対策事業

1-A1-5 合流式下水道緊急改善事業

1-C1-3 効果促進事業(浸水対策)

1-A1-5 合流式下水道緊急改善事業

1-A1-5 合流式下水道緊急改善事業

1-A1-3 下水道浸水被害軽減総合事業

1-A1-2 下水道浸水被害軽減総合事業

1-A1-1 下水道総合浸水対策緊急事業

鳥羽水環境保全センター吉祥院支所
1-A1-9 下水道長寿命化対策

1-A1-8 山科北部地区 山科川13-1号雨水幹線

砂川ポンプ場
1-A1-6 合流式下水道緊急改善事業
1-C1-1 効果促進事業(防災倉庫)

桃山ポンプ場
1-A1-9 下水道長寿命化対策

1-C1-3 効果促進事業(浸水対策)

鳥羽水環境保全センター
1-A1-9 下水道長寿命化対策

1-A1-7 伏見地区 伏見第3導水渠

1-A1-5 合流式下水道緊急改善事業

1-A1-8 向島地区 向島調整池

全域
1-A1-4 下水道地震対策緊急整備事業・下水道総合地震対策事業
1-A1-10 新世代下水道支援事業
1-A1-11 50年経過管の調査・改築更新
1-C1-2 効果促進事業(管路の地震対策, マンホールトイレ)
1-C1-4 効果促進事業(雨水流出抑制対策)
1-C1-5 効果促進事業(50年経過管の調査・改築更新)

凡例	
	【1-A1-1】 下水道総合浸水対策緊急事業
	【1-A1-2】 下水道浸水被害軽減総合事業
	【1-A1-3】 下水道浸水被害軽減総合事業
	【1-A1-5】 合流式下水道緊急改善事業
	【1-A1-7】 伏見第3導水渠
	【1-A1-8】 山科川13-1号雨水幹線
	【1-C1-1】 効果促進事業(防災倉庫)
	【1-C1-3】 効果促進事業(浸水対策)
	水環境保全センター
	ポンプ場
	(公共)
	(特環)
	下水道法に基づく事業計画区域